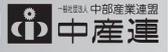


自分の思考力が浅く物足りなさを感じている方、
根本的な問題解決や課題発見につながる思考法を身につけたい方へ



思考力を鍛え、問題の本質を発見する

「クリティカルシンキング」



と き

2024年 10月 18日(金) 9:30~16:30

開催形式

会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

～数ある問題ではなく「真因」を、一現象ではなく「本質」を発見する力を身につける～

ご参加
いただきたい方

● すべてのビジネスパーソン

- ※特に
- ・ 数ある問題の中から、「真因」を見つけて解決する能力を身につけたい方
 - ・ ロジカルシンキングでの問題解決の効力に物足りなさを感じている方
 - ・ 生産性の上がない形骸化した仕事の進め方を根本的に見直し、再構築したい方

クリティカルシンキングのスキルが不足していると、「変化が続く時代の仕事」では成果が出せなくなる・・

グローバル化とIT化で、これまでの前例や成功例がほぼ通用しない激動の時代になりました。
具体的には、従来の「言われたことを正しく実行する力」から「自ら考えてオリジナリティのあるアウトプットを生み出す力」、
「自分で学び、自己進化する力」、「意見や価値観が異なる他者と共創する力」がより重視される時代になったといえます。
現在は**3不(不連続/不確実/不明瞭)な、いわゆる「正解のない時代」**であり、このような時代において付加価値の高い能力とは
自分に経験値がないことでも、説得力のある結論(仮説)を生み出す力なのかもしれません。
それは、従来の「指示されたことを正しく実行する力」とは対照的であり、問題ではなく「真因」を、現象ではなく「本質」を見つけ出す力とも言えます。

◆言われたことを客観的な視点で正しく実行するために役立つスキルが「ロジカルシンキング」。
真因や本質を見つけるために役立つスキルが「クリティカルシンキング」。

1990年頃、所謂バブル崩壊の時代までは、現状を改善して発展させることができれば、ビジネスパーソンとして合格点でした。
しかし、そのビジネススタンスでは、21世紀に入ってからは、急速なグローバル化やIT化により消耗戦を強いられています。
実際、改善だけではプロダクトは短期間でコモディティ化し、国内外の他社にコピーや追随され、レッドオーシャン(パイの食い合いの繰り返しの渦中に引きずられていきます。その渦に少しでも引きずられないようにするためには、コモディティ化した原因ではなく「真因」を、現象ではなく「本質」を突き止める能力が大変重要になります。

そこで、本研修では、

- クリティカルシンキングの技術を駆使して大きな効果(費用対効果の高い仕事)を生み出す方法
- 少なく限られた時間しかなくても、クリティカルシンキングによって起きている問題の本質や真因を見つけ出す方法
- 見つけた真因を異なる価値観や思考を持つ人にもわかりやすく認識のズレがないように説明して説得する方法
- ロジカルシンキングと比較した考え方や活用目的の明確な違い(状況別/仕事の類別)

を「講師の説明→演習体験&参加者全体での気づき・学びの共有→講師の解説」によって、しっかり腹に落とし込みます。
近い将来、「クリティカルシンキングのスキルが不足していると、安心して仕事を任せてもらえない時代」が必ずやって来ます。
もしかしたら、仕事の属性(イノベーションが求められる仕事、根本的な改革が求められる仕事など)によっては既に到来しているの
かもしれません。

今携わる業務に「より少ない時間で、より高い成果」を目指す方にとって、大変有益な知識と実践スキルが詰まった研修です。
この機会にぜひ、イノベーションの起点になる思考法ともいえるクリティカルシンキングのスキルを習得してください。

◆ 研修プログラム (9:30~16:30)

1. オープニング・ワーク ～思考と行動の前提

- (1) **ワーク** 営業責任者から届いた顧客の声(2)結果共有と視点の抽出
- (3)「解釈の前提」の存在 ～脳と習慣

2. 批判的とは? ～一般の通念と異なる“批判”の本当の意味

- (1) **ワーク** 自分が前提としているものは何か? 前提として良いものは何か?
- (2)前提として妥当性の高いものと低いもの (3)批判的であることの出発点

3. 批判的思考(クリティカルシンキング)とは?

- (1) **ワーク** なぜ自分は批判的思考を学ぶのか? (2)そもそも批判的思考とは?
- (3)批判的思考の実践にあたって ～とらえ方と必要な姿勢
- (4)批判的思考の活用ステップ (5) **ワーク** 新聞情報に対する批判的思考の実践①

4. 批判的思考と論理的思考(クリティカルとロジカル)

- (1)批判的思考の研修に論理的思考研修の内容が多いワケ
- (2)論理的思考の基本① ～MECE、ロジックツリー (3) **ワーク** 3つのロジックツリー
- (4)ロジックツリーの活用と課題抽出 (5) **ワーク** 2つの主張は適切?

- (6)論理的思考の基本② ～三段論法と演繹法・帰納法

5. 批判的思考力の向上に向けて① ～全体像

- (1)批判的思考力を高めるには? ～学びの共通点と習慣の活用
- (2)批判的思考力を高めるための全体像 ～3つの必要な姿勢への対応

6. 批判的思考力の向上に向けて② ～3つの姿勢を獲得する

- (1) **ワーク** 3つの姿勢を獲得するしくみ (2)方法論の例
- (3) **ワーク** 新聞情報に対する批判的思考の実践②
- (4) **ワーク** データを利用した主張に対する批判的思考の実践

7. 批判的思考の実践上の注意点

- (1)講師の体験 ～二分された評価 (2)失敗事例からの学び

8. 総まとめ

- (1) **ワーク** 「営業責任者から届いた顧客の声」の再検討 (2)顧客の声のとらえ方例
- (3)改善と改革に向けた批判的思考の実践のポイント
- (4) **ワーク** 批判的思考力向上アクションプランの策定

講師

中産連パートナー講師 (ビジネスアナリシスコンサルタント)

大学卒業後、出版・通信教育会社に就職。20年以上にわたり、教育サービスの事業責任者、サービス共通基盤開発などのメガプロジェクトの責任者を担当。コンサルタントとして独立後、幅広い業務領域での実務経験を通じて培った「統計活用」「データ分析」「クリティカルシンキング」「業務構築」等のノウハウを活かし、経営分析、業務分析、業務構築・リエンジニアリングの社員教育など、企業向け支援を中心に活動する傍ら、国立大学法人にてデータサイエンス、教育測定・評価論の講座を担当している。また、国内最大手のビジネススクールの講師や、大手ウェビナーサイトでの講師を務め、本研修テーマに関連した情報(データ)分析による課題発見力&仮説構築力のセミナー受講者は既に1万人を超えている。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた受講者との双方向型で進める研修スタイルは、丁寧な説明と実務に直結したケーススタディとの併用により学習意欲が強く引き出されると好評。

思考力を鍛え、問題の本質を発見する「クリティカルシンキング」(10/18) 参加要項/参加申込書

参加費 (1名様)		中産連会員	中産連会員外	★講師からのオリジナル課題と添削&アドバイスコメントにより、クリティカルシンキングの習得度を深めて、実務での実践力を高めることができます!
	セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)	
	フォローアップ(事後行動支援)付き★	47,300円(消費税込)	52,800円(消費税込)	
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。			
受講までの流れ	<会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2~3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 <オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。			
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 ・会場受講の場合：開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・・・・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合：テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・・・・・・受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。			
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL: 052-931-9824 e-mail: kohashikawa@chusanren.or.jp			

会社名 _____ 年 月 日

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/> 会場					
<input type="checkbox"/> オンライン					
<input type="checkbox"/> 会場					
<input type="checkbox"/> オンライン					
<input type="checkbox"/> 会場					
<input type="checkbox"/> オンライン					

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。
	百万円	人		

中部産業連盟会員(○印をお付けください) _____ 会員 ・ 会員外 _____ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない